

「ツキノワグマの出没に関する警報」の発表について

令和 8 年 4 月 22 日
岩手県環境生活部自然保護課

県は、ツキノワグマの出没に関する一層の注意を促し、更なる被害の防止を図るため、県内全域に「ツキノワグマの出没に関する警報」を発表します。

これまで、「ツキノワグマの出没に関する注意報」等を発表し、被害防止の取組等をお願いしていたところですが、県内ではツキノワグマの出没件数が例年より大幅に増加し、人里に近いところでの目撃情報が増えており、また、本年2月以降、毎月人身被害が発生しています。

県民の皆さんにはツキノワグマの被害を防止するため、一層の注意をお願いします。

ツキノワグマの人身被害については、令和7年度の人身被害（39件・40名）や大量出没を踏まえ、令和8年3月24日に「ツキノワグマの出没に関する注意報」を発表し、注意喚起しているところです。ツキノワグマの令和8年1月から3月までの出沒件数は197件と、過去5年間の同期間の平均（33件）と比較して約6倍となっています。また、2月以降、毎月人身被害が発生しています。

山林に限らず、人里に近いところでの目撃情報も増え、人身被害が発生していることから、予期せずにクマと遭遇し、被害に遭う危険性が常にあることを意識してください。

県民の皆様には、クマの出没情報に留意して、次の「クマに遭わない対策」、「クマを人里に寄せ付けない対策」、「クマに遭ったときの行動」を行うようお願いします。クマを寄せ付けない対策を積極的に行い、被害を防ぎましょう。

○ クマに遭わない対策

- ・事前に入山地域の出没情報や被害情報を確認する。
- ・複数人で行動し、明け方、夕方の入山は避ける。
- ・鈴やラジオ等の音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピールする。
- ・食べ残し等、エサになるものを放置しない。
- ・撃退グッズ（撃退スプレー等）を携帯する。
- ・クマの糞や足跡を見たら引き返す。

山でクマに遭遇しないために

クマに出会わないために、山へ入るときは対策を！

時間



複数人で行動し、明け方、夕方の入山は避ける(入らない)

ツキノワグマは明け方と夕方に行動が活発になります。時間帯を選んで入山しましょう。

音



音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピール

クマは臆病な性格です。クマ鈴やラジオなどで人間の存在をアピールすれば近付きにくくなります。

ゴミ



食べ残し等、エサになるものを放置しない

お弁当やお菓子の食べ残しなどはクマのエサ。放置すると、クマをおびき寄せてしまう可能性があります。

準備



いざという時の撃退グッズ

注意してもクマとバッタリ遭遇してしまう可能性があります。クマスプレーなど撃退グッズを準備しましょう。

○ クマを人里に寄せ付けない対策

- ・電気柵を設置し、クマを寄せ付けない対策をする。
- ・庭先果樹は適期が来たらなるべく速やかに収穫する。
- ・農地周辺のやぶを刈り払い、見通しの良い環境を整備する。
- ・廃棄野菜や生ごみ、コンポストの管理を適切に行う。
- ・屋外やクマが侵入できる納屋に果物、穀物、ペットフード等を保管しない。
- ・家屋や倉庫などについても施錠するなど、クマを侵入させない対策をする。

クマを人里に寄せ付けないために

クマの被害を防ぐため、人里にクマを寄せ付けない対策を！

農地で



農地は電気柵で囲みましょう

クマ対策には電気柵が有効です。また、規格外で廃棄した作物も放置せずに処分しましょう。

家の周りで



実のなる樹木は要注意

クリやカキなど実のなる庭木は、早期に実をもぎ取る、伐採する、トタンを巻く、電気柵で囲うなどの対策を。

家の周りで



人間の生ごみはクマのエサ

コンポストやゴミもクマを引き寄せます。クマが出没しやすい場所では利用を控えるなどの対策を。

集落で



草刈りで見通し良い環境を

見通しが良くなると隠れる場所がないので、クマが通りにくくなります。環境を整備し近付きにくくなる対策を。

○ クマに遭った時の行動

- 背を向けて走って逃げない。
- 目を離さず静かにゆっくり後退する。
- 親子グマに注意する。
- 風向きに注意して撃退スプレーを使う。
- クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし、体を丸くして地面に伏せて防御する。

出会ったときの行動



背を向けて走って逃げない

クマは逃走する対象を追いかける傾向があるので、背中を見せて逃げ出すと攻撃性を高める場合があります。



目を離さずに静かにゆっくり後ずさる

急に大声をあげたり、急な動きはしないで、クマを見ながらゆっくり後退し、落ち着いて距離をとるようにします。



親子グマに注意

子グマが単独にいるような場合でも、すぐ近くに母グマがいる可能性が高いため、近づくことはせず、周囲を確認しながら速やかにその場から離れる必要があります。

襲われそうになったら...



風向きに注意して撃退スプレーを使う

風向きによっては噴射した本人へも影響がありますが、それでもクマからの攻撃を回避するためには、躊躇せずスプレーをクマの顔に向かって噴射することが重要です。



クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御する

顔を攻撃されることが多く、命に別状がなくとも、失明などの深刻な後遺症や大きな傷跡が残ります。とにかく顔と頭部を守ります。

【参考】

1 ここ数年の出没・人身被害の状況

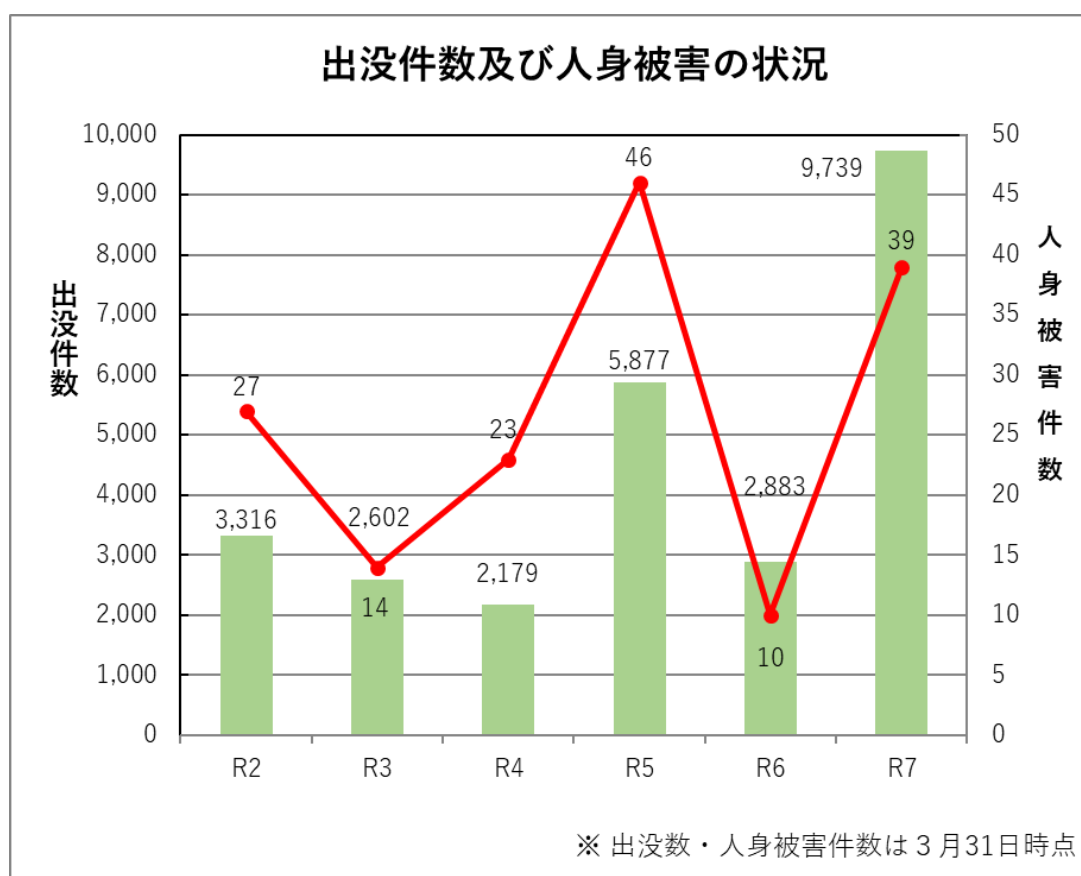
(1) 出没件数（令和8年3月31日現在）

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
年度計	3,316	2,602	2,179	5,877	2,883	9,739

※ 上記出没件数には、市町村において実際に出没を確認したもののほか、県民からの目撃情報、ツキノワグマの足跡等の痕跡に基づくものなどが含まれています（同一個体による複数の情報が計上されることもあること）。

(2) 人身被害（令和8年3月31日現在）

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R7※
件 数（件）	27	14	23	46	10	39
人 数（人）	29	14	24	49	10	40
うち死亡（人）	—	—	—	2	1	5



2 岩手県の人身被害の状況について

県 HP の下記の場所に、人身被害の状況（表形式及び地図）、出没状況を掲載しています。

[トップページ](#) > [暮らし・環境](#) > [自然](#) > [野生動物](#) > [ツキノワグマ](#) > [ツキノワグマによる人身被害状況・出没状況について](#)